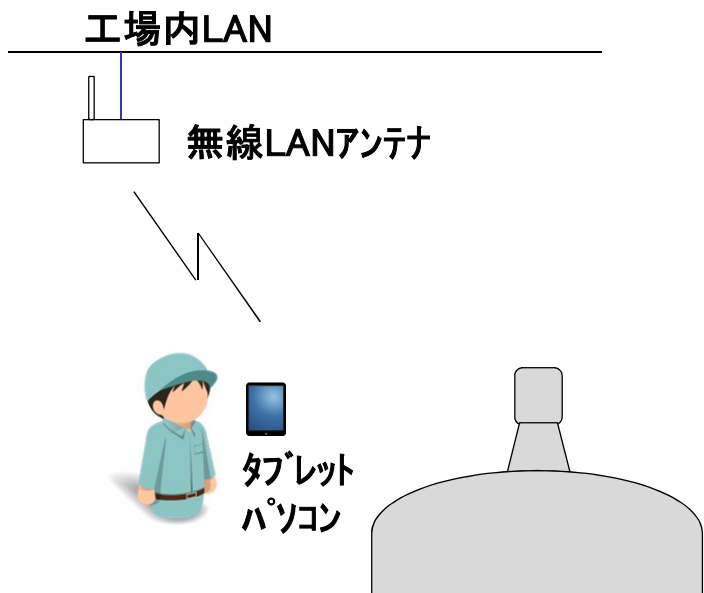


## 1. 操作監視の理想形

生産設備の製造状況や警報の情報は、“どこにいてもリアルタイムで得ることが出来る”のが理想であり、設備の操作も“遠隔でも現場でも希望する場所で操作できる”のが理想です。

## 2. タブレットパソコンによるオペレーションとは

情報分野のハードやソフトは急速な進歩を続けており、タブレットパソコンも高機能化、軽量化、高速化、低価格化が一気に進みました。このため、タブレットパソコンを携帯して、どこでも操作や監視を行うことの出来る理想的なオペレーションシステムを構築できるようになりました。



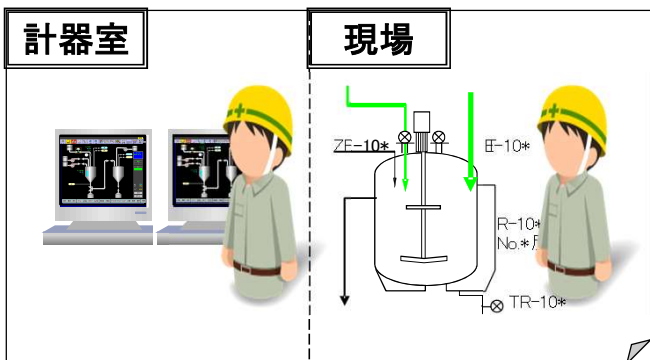
タブレットパソコン例

当社では、“希望する場所で、操作や監視ができるオペレーション”を重視しております。タブレットパソコンによるオペレーションも積極的に導入し、お客様から好評価を戴いております。是非クラレエンジニアリングにお声掛け下さい。

- ・情報のやりとりは無線LANを使って行います。
- ・操作は画面をタッチして行います。
- ・作業員毎に監視、操作できる範囲、装置を分けたり、操作者を記録するなど、ご要望に応じて様々な機能を持たすことも可能です。

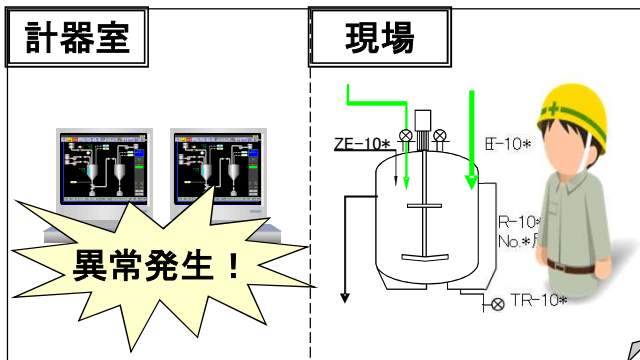
## 3. 活用事例

### ■従来



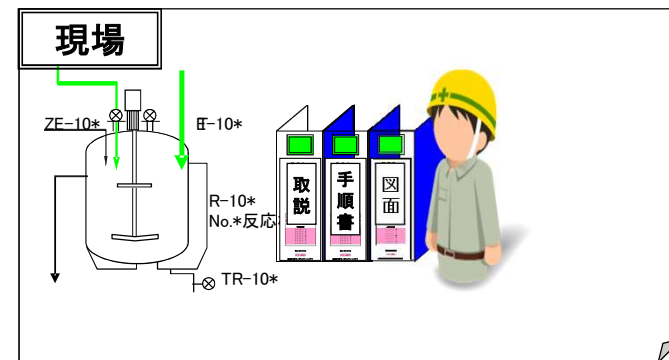
- ・プラントの監視操作は計器室のみ。
- ・計器室と現場にオペレータが必要。

### ■従来



- ・計器室でしか設備異常がわからない。
- ・現場見回り中、異常の発見が遅れる。

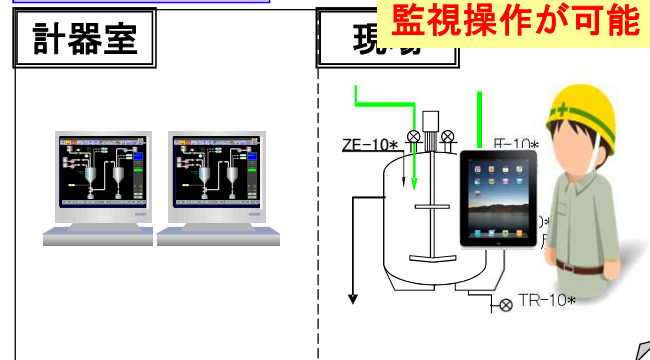
### ■従来



- ・メンテなどで取説や作業手順書、図面などの必要書類を持ち運び。

### ■タブレット

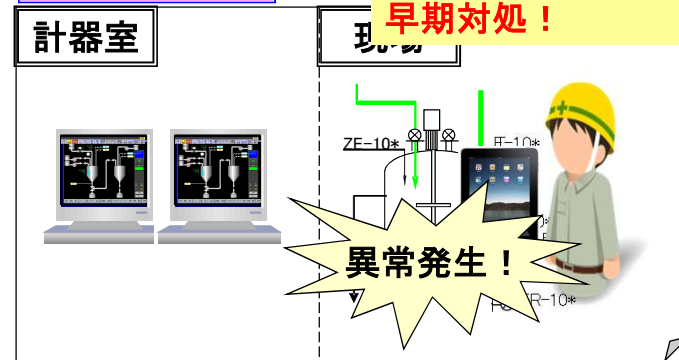
現場でプラントの監視操作が可能！



- ・どこでもプラントの操作監視が可能。
- ・オペレータの人員合理化が可能。

### ■タブレット

現場で異常を発見。早期対処！



- ・現場でも設備異常を把握可能。
- ・異常を早期発見・対処することにより、ダウンタイム短縮が可能。

### ■タブレット

タブレットで資料の閲覧が可能！



- ・タブレットで、取説などが閲覧可能。
- ・現場に大量の資料を持ち運ぶ必要なし。